

記入時の注意事項

※調査票について

- ・この調査票は、今年度産業廃棄物処理計画実施状況報告書を提出する事業者に提出をお願いしているものです。
- ・廃棄物処理法の対象外のため、公表はしませんが、データ集計のためご協力ください。
- ・空白セルに数値を入力してください(色付きセルは自動で計算されます)。
- ・再生利用用途、処理方法、処分先は該当するものを○で囲んでください(複数回答可)。
- ・複数記載できるよう、No.1、No.2とありますが、不足する場合はシートをコピーしてください。

※報告書について

- ・報告書第2面は廃棄物の種類ごとに必要です。
- ・調査票に記載した数値が自動で入力されるようになっておりますが、色付きセルには**直接入力**してください。

※計画書別紙1について

- ・調査票及び報告書に記入された数値が自動で入力されるようになっています。
- ・今年度計画書を提出される方は、計画書様式に添付されている別紙1の代わりにご利用いただけます。
- ・今年度計画書を提出されない方は、印刷する必要はありません。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社〇△□ 名古屋支店	従業員数 (人)	100	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	管理部 名古屋 太郎	当該事業所の元請完成額 (万円/年)	12,000	建設業の場合記入。名古屋市内で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	052-〇〇〇-△△△△	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	産業廃棄物の具体的な名称				
		がれき類 アスファルトがら	がれき類 コンクリートがら	がれき類 石綿含有がれき	汚泥 建設汚泥	廃プラスチック
前年度計画の実施状況 (1年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	1,000	500	50	500	10
	b 有償物量 (t/年)	0	0	0	0	0
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	1,000	500	50	500	10
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	0	0	0	0	
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)						
再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0	
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	0	0	0	0	
d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	1,000	500	50	500	10	
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年)	1,000	500	50	500	10	
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
f 委託中間処理量 (t/年)	1,000	500	0	500	10	
処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	200	0	
h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	1,000	500	0	0	0	
再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	300	0	
埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	1,000	500	0	0	0	
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	0	0	0	200	0	
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0	0	50	300	0	

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社〇△□ 名古屋支店	従業員数 (人)	100	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	管理部 名古屋 太郎	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	12,000	建設業の場合記入。名古屋市内で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	052-〇〇〇-△△△△	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)		製造業の場合記入。前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	木くず	混合物				
			安定型				
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績	a 不要物等発生量 (t/年)	30	15				
	b 有償物量 (t/年)	0	0				
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	30	15				
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
		処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)		0	0			
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
		再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)		0	0			
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)		0	15			
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)		0	15			
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
埋立処分先		A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
f 委託中間処理量 (t/年)	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E (選別)	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
g 委託中間処理により減量した量(t/年)		0	0				
h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	
i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)		30	0				
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)		0	0				
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)		0	15				

- (注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
 2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)
 3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破碎・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)
 4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
 5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

名古屋市長 様

原則として、本社の住所及び代表者の氏名を記入してください。なお、代表者から提出を委任されている場合は、工場長等でも可(委任状添付の必要はありません)。

〇〇年〇〇月〇〇日

提出者

- ・代理人による申請の場合、申請者と申請代理人を連記してください。
- ・行政書士でない方が、業として他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類を作成することは、法律に別段の定めがある場合を除き、行政書士法違反となりますので、ご注意ください。

住所 名古屋市中区三の丸〇-〇-〇

氏名 株式会社〇△◇

代表取締役 〇△ ◇□

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

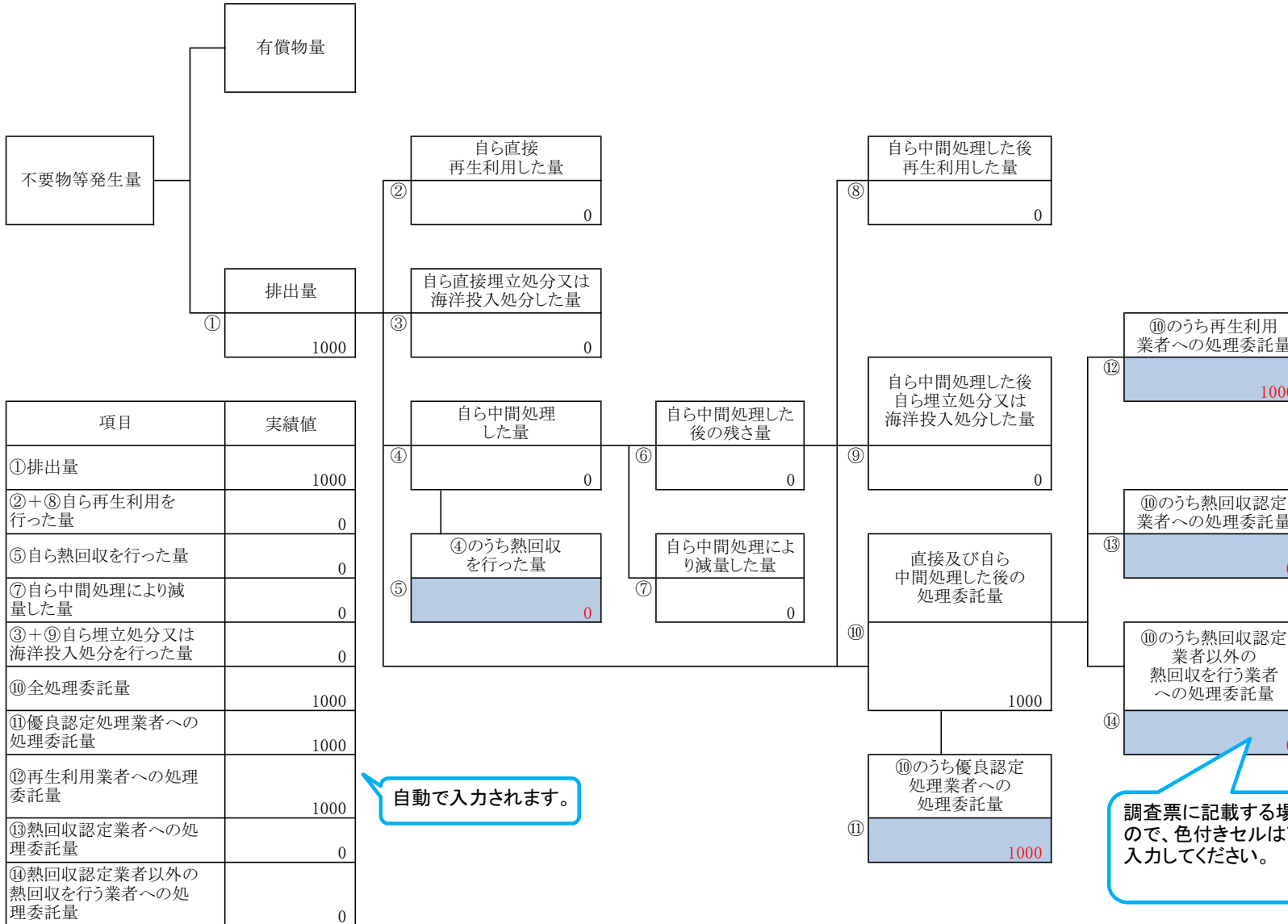
電話番号 052-〇〇〇-△△△△

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、〇〇年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社〇△◇ 名古屋支店		
事業場の所在地	名古屋市〇〇区〇〇 △△-◇◇-□		
事業の種類	06:総合工事業 日本標準産業分類中分類(コード含む)を記入してください。		
産業廃棄物処理計画における計画期間	〇〇年4月1日～〇〇年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値	目標値には、昨年度提出した計画書に記載した廃棄物についての情報を記載してください。値は全廃棄物の合計量です。		
項目	目標値	項目	目標値
排出量	13,000 t	全処理委託量	12,600 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	5,000 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	7,000 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	370 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	30 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類 : アスファルトがら)

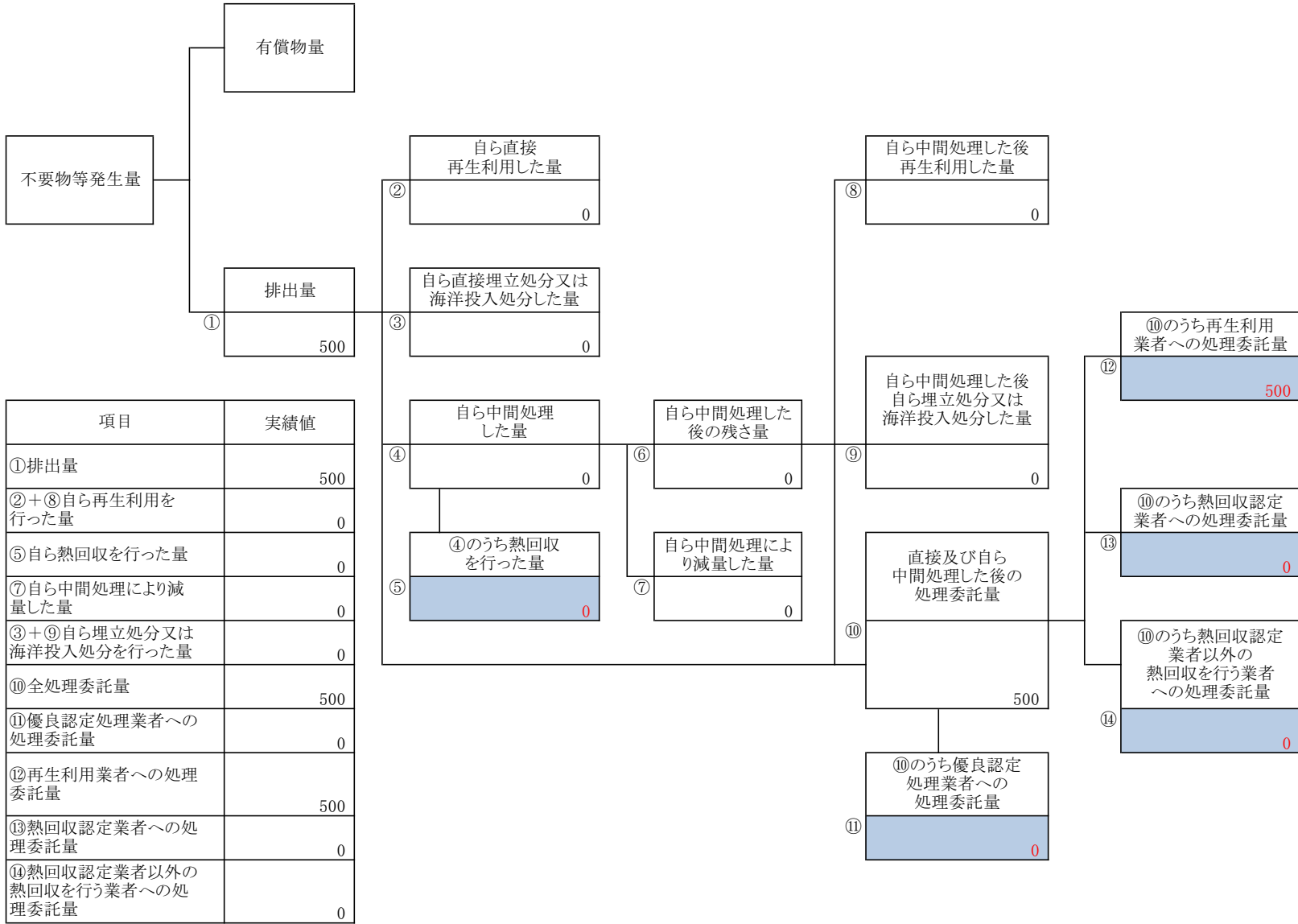


自動で入力されます。

調査票に記載する場所がないので、色付きセルは直接数値を入力してください。

計画の実施状況

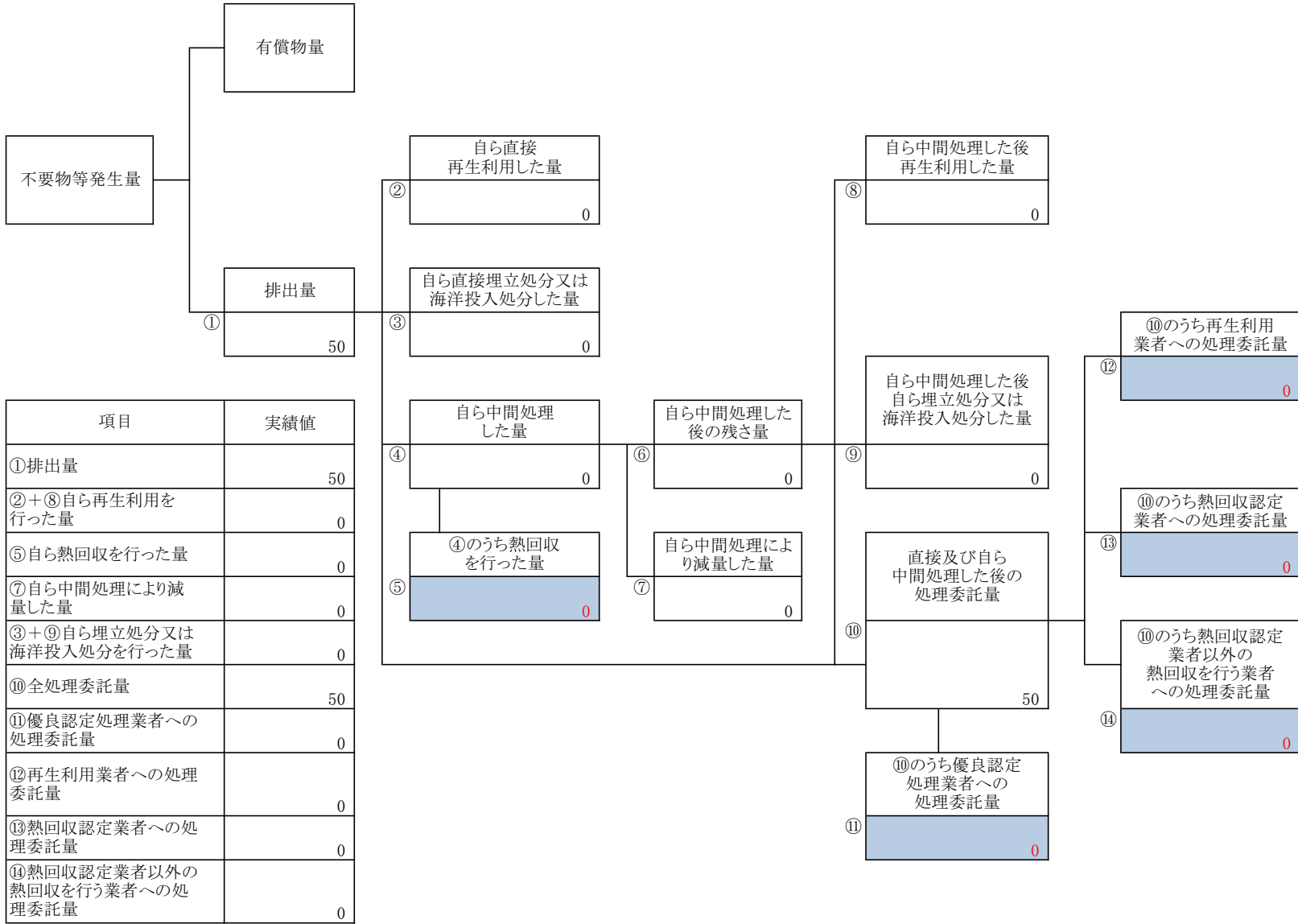
(産業廃棄物の種類: がれき類 : コンクリートがら)



項目	実績値
①排出量	500
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	500
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	500
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

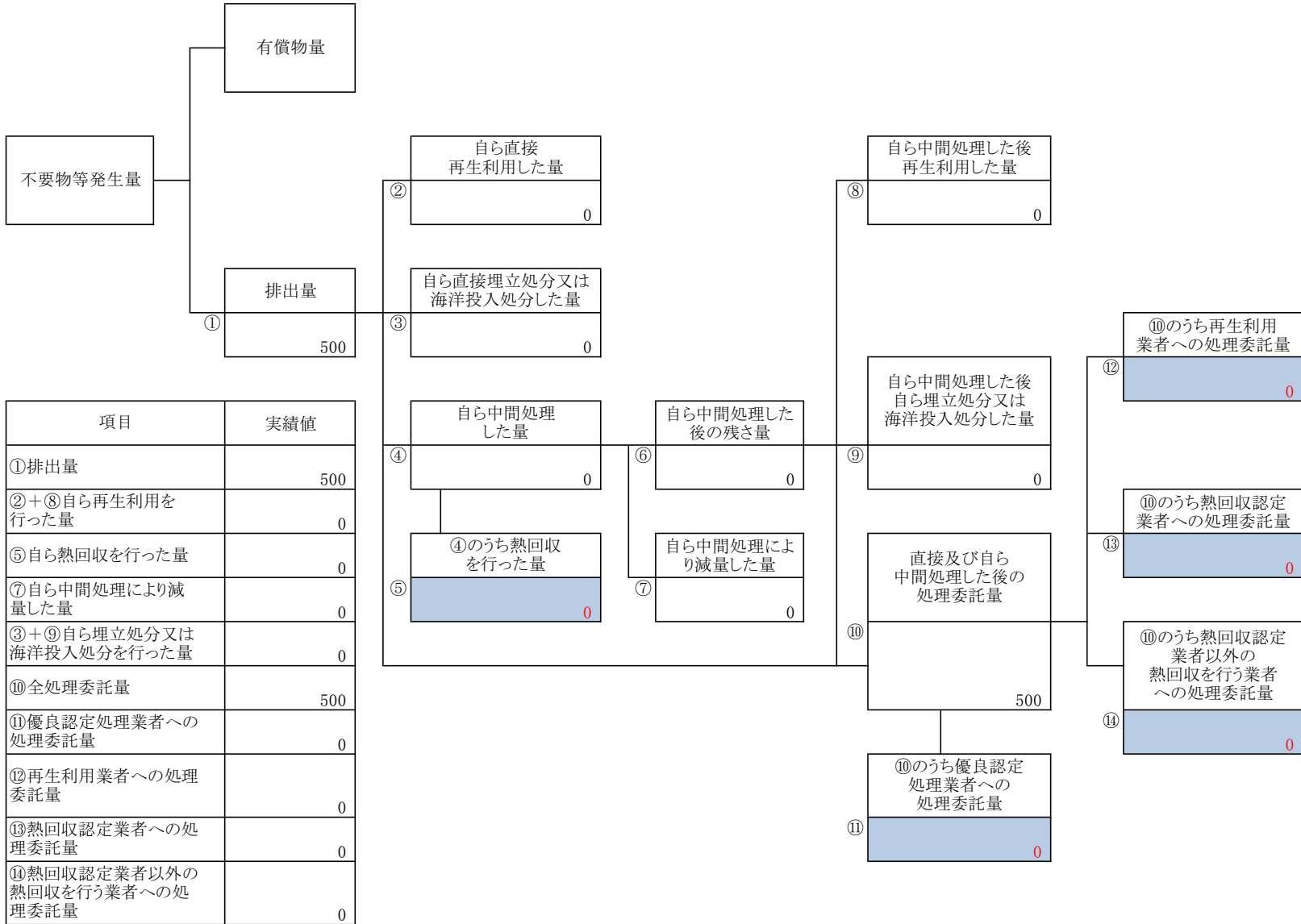
(産業廃棄物の種類: がれき類 : 石綿含有がれき)



項目	実績値
①排出量	50
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	50
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

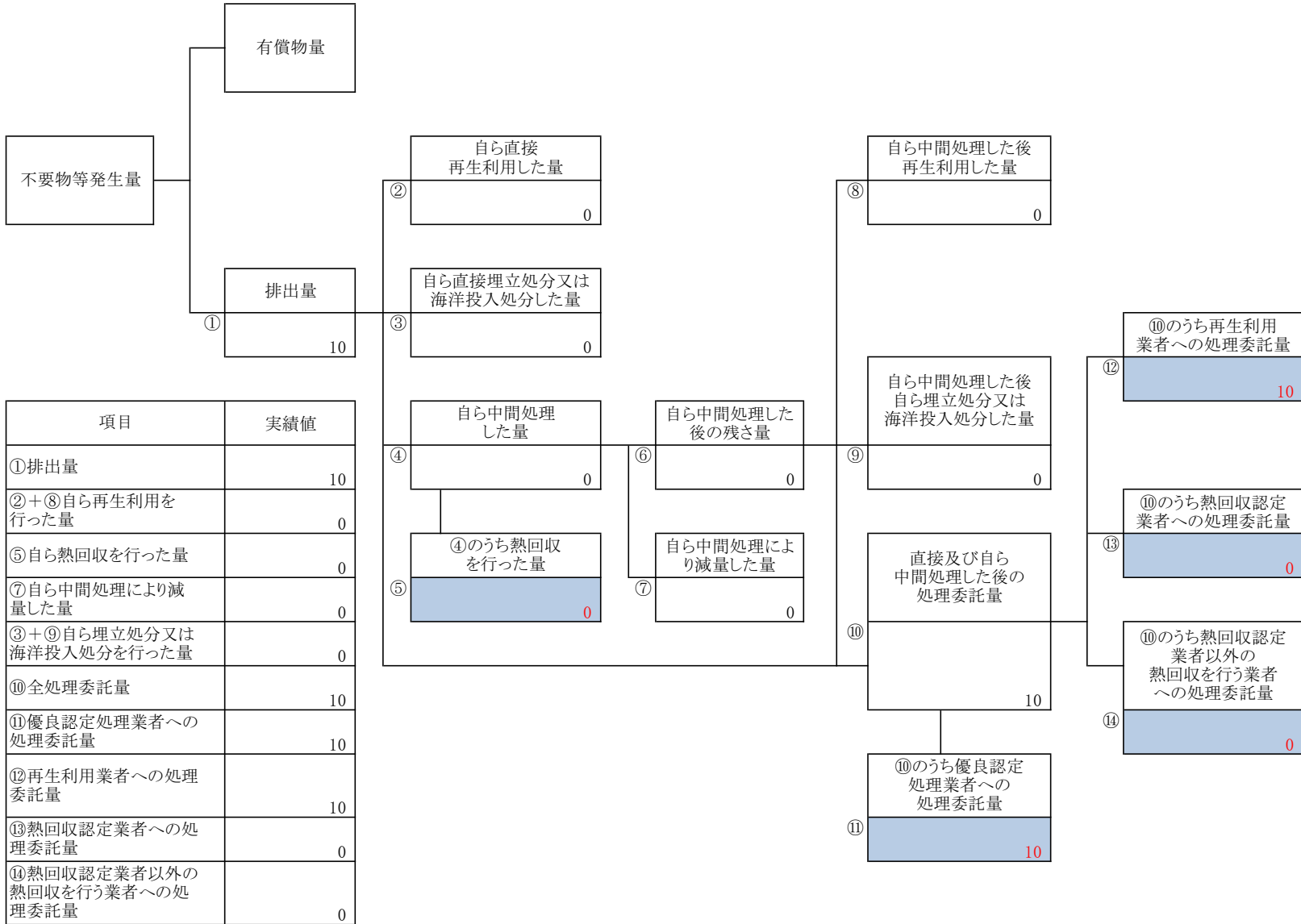
(産業廃棄物の種類: 汚泥 : 建設汚泥)



項目	実績値
①排出量	500
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	500
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

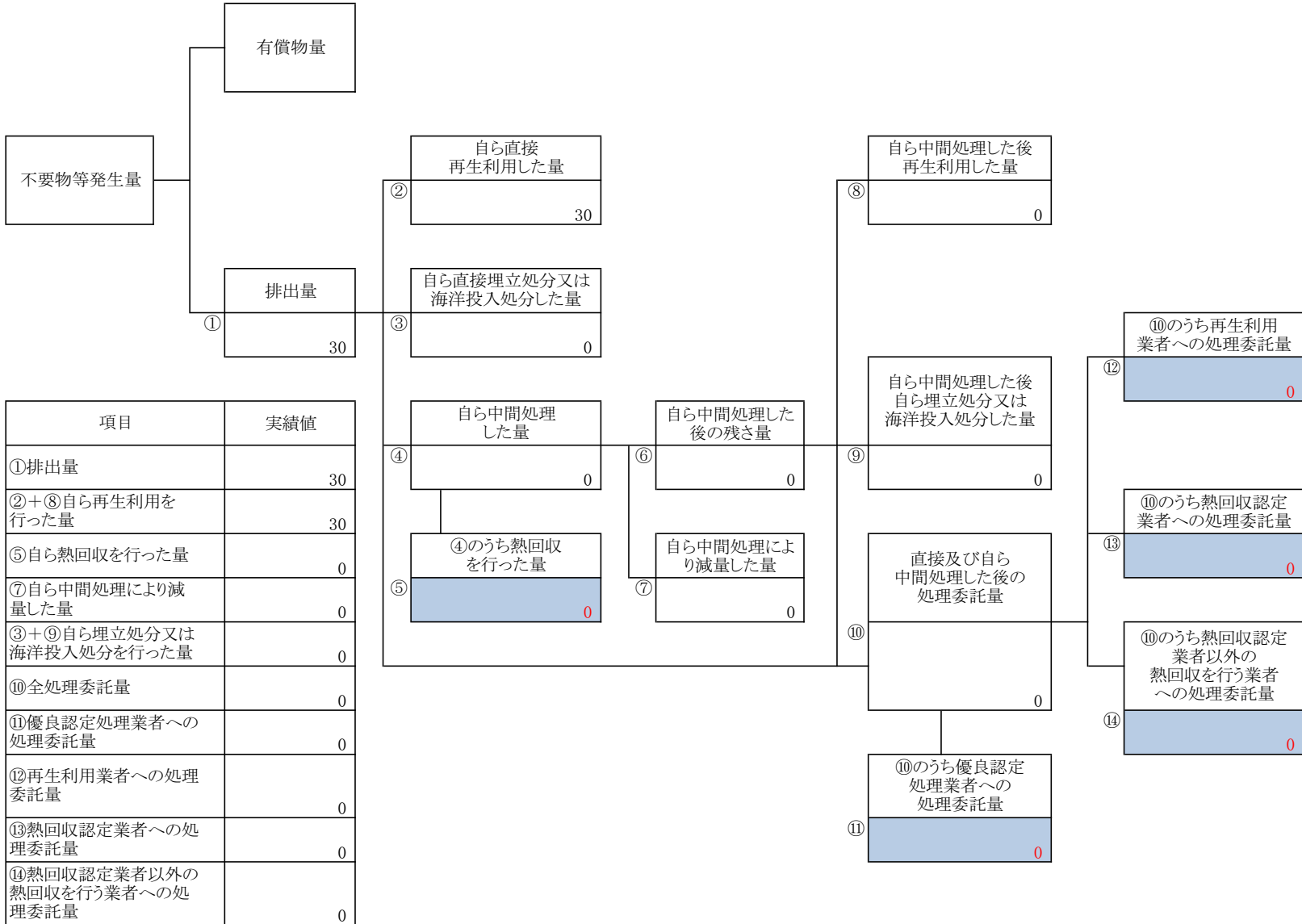
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック :)



項目	実績値
①排出量	10
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10
⑫再生利用業者への処理委託量	10
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

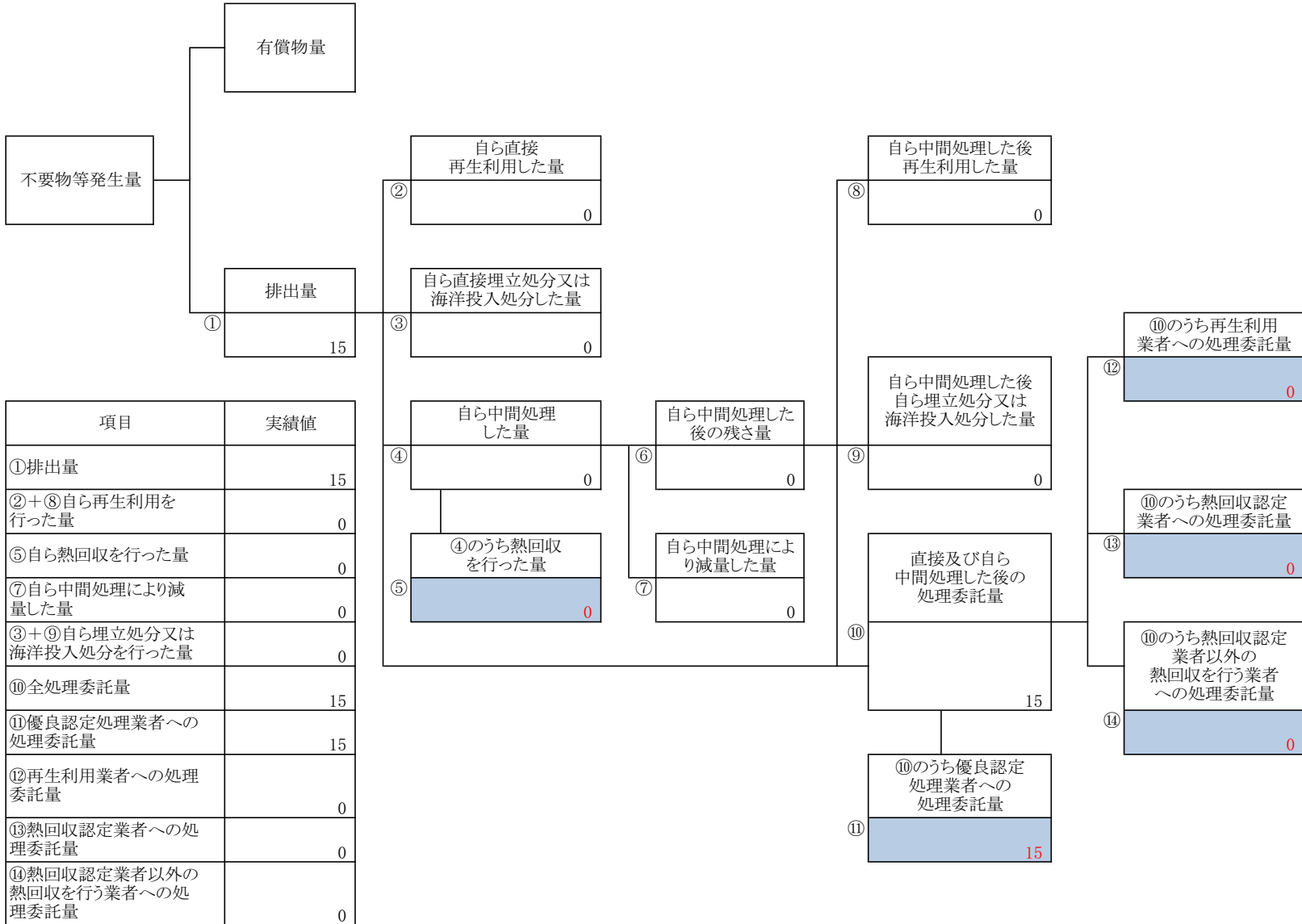
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず :)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合物 : 安定型)



項目	実績値
①排出量	15
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	15
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

廃棄物の種類	がれき類	がれき類	がれき類	汚泥	廃プラスチック	木くず	混合物			
名称	アスファルトがら	コンクリートがら	石綿含有がれき	建設汚泥			安定型			
① 排出量(t)	1000	500	50	500	10	30	15			
② 自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0
④ 自ら中間処理を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤ ③のうち自ら熱回収量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ ③のうち自ら中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0			
⑥ 自ら中間処理後残さ量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③ 自ら埋立処分を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩ 処理委託した全量(t)	1000	500	50	500	10	0	15			
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量(t)	1000	0	0	0	10	0	15	0	0	0
⑫ 再生利用業者への処理委託量(t)	1000	500	0	0	10	0	0	0	0	0
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

すべて自動で入力されます。